

桑名の教育をまもる 今後の取り組みを 考えましょう

2026年5月12日

学校統廃合小中一貫教育全国ネット

事務局 今西清

桑名市学校再編計画 段階をふんだ検討のはず

6. 新しい学校配置案

新しい学校配置案検討フロー



市長はいきなり光風、政和を重点指定

「光風」「正和」重点地域に
桑名市方針 住民の意向を把握

桑名市の小中学校再編を巡り、伊藤徳宇市長は26日、再編計画で示す6地域のうち2地域を重点地域として指定し、統廃合に向けた協議を先んじて進める方針を明らかにした。現在の光風、正和両中学校それぞれの場所に計画する義務教育学校区が対象になる。伊藤市長は「地域の皆さんの意見に向き合いたい」と住民の意向を把握する考えを示した。（大島康介）

要望は出ず「総合的に判断」
再編計画は今月上旬に策定。昨年3月に発表した原案をほぼ踏襲している。市内初の義務教育学校「多度学園」が4月に開校する多度地区を除いた市全域で、計6地域に1校ずつ義務教育学校を整備する方針となっている。

6地域のうち、光風中に整備する義務教育学校の校区には精義小や益世小、深谷小など小学校6校の校区が含まれる。廃校予定の明正中と成徳中の校区の一部を含むため、児童生徒数が合計で2千人を超える可能性が市議会などで指摘されてきた。

正和中に計画する義務教育学校では、在良小や七和小など小学校4校が統廃合の対象になる。市教委は、昨年3月に原案を公表した後「ぜひ進めてほしい」という地域があれば要望として示してほしい」と呼びかけてきた。ただ、市によると今のところ6地域のいずれからも要望は出ていない。

学校再編の重点地域に含まれる小学校
①光風中の場所につくる義務教育学校
精義小、益世小、修徳小、大成小、深谷小、大和小
②正和中の場所につくる義務教育学校
桑部小、在良小、七和小、久米小

学校再編

再編の重点地域を発表する市長＝桑名市役所で

の減少や施設の老朽化、分散進学といった課題を放置するわけにはいかない。多度学園では10年かかったこともあり、重点地域を決めて協議をスタートさせた」と説明した。市教委事務局に4月に発足する学校再編推進課が、自治会やまちづくり協議会、PTAなどの地域団体に話し合いを持ちかけるといふ。

2地域を選んだ理由として伊藤市長は総合的に判断したと述べた。光風中は隣接する市役所を学校の敷地とすることが見込めるため用地の確保のしやすさがあり、正和中は校舎の老朽化が進んでいることが理由になったとみられる。

市としては、4月に開校する多度学園について発信しながら義務教育学校化への理解を促し、学校再編の必要性を訴える方針。2月に多度学園の真新しい校舎の内覧会を開いた際には市全域の自治会長らを招き、計4千人が参加した。伊藤市長は「多度学園を見てもう一つ具体的にイメージできるようなところと思う。重点地域の皆さんがど

合意形成が完全に欠落

市長が重点計画だしてくれたので
小学校も中学校もなくす
桑名市のだ真ん中で
光風、政和のだれが合意したのか

市民運動の対抗重点もはっきりした
全体計画はひどいが
個別計画で一気に具体的な問題が浮上する

合意形成 文科省手引き

「地域とともにある学校づくり」が求められていることを踏まえれば、学校統合の適否を検討する上では、学校教育の直接の受益者である児童生徒の保護者や将来の受益者である就学前の子供の保護者の声を重視しつつ、地域住民や地域の学校支援組織と教育上の課題やまちづくりも含めた将来ビジョンを共有し、十分な理解や協力を得ながら進めていくことが大切になってきます。

過大校の問題点

文科省手引き

- ③ 同学年でもお互いの顔や名前を知らないなど、児童生徒間の人間関係が希薄化する場合がある
- ④ 教員集団として、児童生徒一人一人の個性や行動を把握し、きめ細かな指導を行うことが困難であり、問題行動が発生しやすい場合がある
- ⑤ 児童生徒一人当たりの校舎面積、運動場面積等が著しく狭くなった場合、教育活動の展開に支障が生じる場合がある
- ⑥ 特別教室や体育館、プール等の利用に当たって授業の割当てや調整が難しくなる場合がある
- ⑦ 学校運営全般にわたり、校長が一体的なマネジメントを行ったり、教職員が十分な共通理解を図ったりする上で支障が生じる場合がある

過大校 十分な教育的配慮を 文科省手引き

小中一貫教育の導入に伴い、既存の小・中学校を一体化して新たな校舎を建築したり、小学校又は中学校の既存校舎を活用して一体的な教育活動に取り組んだりする事例も増えてきているところですが、こうした場合にも、全体としての学校規模が過大になることによって上述のような課題が生じないように、具体的な計画を策定・実施するに当たっては十分な教育的配慮を加えることが必要となります。

地域と住民に様々な改悪が同時にでる

光風、政和から小学校、中学校がなくなる

水道が民営化される

アトピー、アレルギー治療の患者負担あがる

介護保険認定の有料化

市民は反対の声をあげる 地方選挙で与党敗北続く

益世小学校 創立明治8年10月30日

創立151年

昭和21年11月3日、新しい日本の方向を示す「日本国憲法」が公布され、平和と民主主義の精神のもとに新しい日本の国が誕生したのです。

「益世」の校名は、新しい日本の国が誕生し、新しい「世」の中に「益」（役に立つ）する人間となるため、いっしょうけんめい勉強する子どもが集まっている学校という願いがこめられて名づけられました。

益世小学校のあゆみ

	R13		R25		R45	
光風	精義小	177人	精義小	132人	精義小	92人
	益世小	356人	益世小	263人	益世小	189人
	修徳小	252人	修徳小	202人	修徳小	143人
	大成小	543人	大成小	366人	大成小	262人
	深谷小	101人	深谷小	93人	深谷小	68人
	大和小	97人	大和小	95人	大和小	62人
	光風中	692人	光風中	570人	光風中	396人
	合計	2,218人	合計	1,721人	合計	1,212人

七和小学校 明治8年11月20日 森忠学校（教願寺）として創立



本校が「まもってくれてありがとう運動」のモデル校に指定されました。「まもってくれてありがとう運動」とは、横断歩道を渡る時に、止まってくれた運転手さんに「ありがとう」と挨拶したり、おじぎをしたりして、お礼の気持ちを伝えることをいいます。

正和	桑部小	155人	桑部小	143人	桑部小	104人
	在良小	298人	在良小	250人	在良小	177人
	七和小	258人	七和小	215人	七和小	159人
	久米小	199人	久米小	189人	久米小	137人
	正和中	565人	正和中	453人	正和中	331人
	合計	1,475人	合計	1,250人	合計	908人

七和小学校の沿革

明治8年11月20日 森忠学校（教願寺）

創立

明治9年2月 芳ヶ崎学校と改称（芳ヶ崎薬師庵）

明治13年6月 芳ヶ崎学校新築 星川に分校を置く（星川、嘉例川の2地区）

明治17年7月 分校廃止 本校校舎増築

明治20年4月28日 小学校簡易科授業所設置

明治24年4月29日 七和尋常小学校と改称

昭和13年1月 現在地に新築移転 昭和

23年7月～24年11月 神田村の児童一部受け入れ

昭和26年3月2日 桑名市へ併合 桑名市立七和小学校と改称

昭和35年12月13日 完全給食実施

平成4年3月7日 体育館新築、竣工式挙行

平成8年2月29日 複合式遊具完成

平成9年 8月29日 空調設備設置

平成 9年9月10日 多目的教室改修

平成16年 3月 地形模型及び岩石園取り壊し跡に「やすらぎ広場」完成

平成19年9月25日 校舎耐震補強工事完成

平成20年9月13日 トイレ改修工事完成

平成24年9月14日 門扉設置工事完成 平

成25年3月11日 特別支援学級教室の改修工事完成

平成30年3月26日 体育館トイレ バリアフリー化工事完成

特別支援学級2階教室パーテーション設置

令和元年8月全普通教室空調整備設置 iPad設置

七和小 20年前の タイムカプセルを開封しました！



2025年11月20日（木）、午後1時30分頃より、予告してありました「2001年3月のタイムカプセル」を掘り起こし、開封しました。

当日は、好天のもと、当時の教職員、在校（園）生やそのご家族の方など、総勢100人を超える方が集まりました。多くの方が、掘り進め、見守る中、無事にタイムカプセルがみつかりました。開封後の中身の保存も良好であり、受け取られた方の笑顔も印象的でした。また、在校生も掘り進める状況や中身の見学をさせていただきました。

まず10軒からお聞きしました A班

訪問対話が始まりました 4月26日

日曜日の午前中に、3人で10軒程訪問してきました。

門前払いされるかしらと、ドキドキしてでしたが、どの家も快く応対下さいました。

大方は、学校がなくなることは知っていましたが、市からきちんとした説明を受けていない。

地元の歩いて行ける学校が一番いい。

市民の意見は、聞いてもらえないの？とも。

今、不登校の子供たちは、大規模校になったら、余計に行けなくなるのでは。

一軒だけ、少子化だから仕方ないと言われました。

ほとんどの家庭でも、急に結論を出してきて、やり方が不誠実だと聞かされました。

また、後日出かけたいと相談してます。

押し付けず B班 自然体で市民の声を聞く 4月26日

10軒ほど訪問しました。

皆さん意外といやがらず対応してもらえました。歴史古い益生小、明正中出身で地域に育ち石取り祭りには積極的に子どもも参加している地元を愛するかたたちでした。

学校がなくなること知ってみえたのは5：5ぐらいでした。

市からの知らせはない。

知らないかたもおられましたが学校は近い方がいいです。

しかし、若いかたはそうでもないようです。

人口減のこともあり、新しい学校でも良いと思っているよ

市のお金の使い方が、新しいものを建設ばかりで、みんなのためになっていない。道路拡張整備で立ち退きになったお店もありました。

学校は近くにあった方が良いが人口減は仕方なくもあり学校が合併していくのは、田舎の学校で体験してきた。

精義小学校 校長の声

林 校長先生

- 精義地区は桑名の基本となる地域。江戸時代の町がベースで、一本路地に入ると昔ながらのもの、昔からの繋がりがいたるところに見つかる。子どもたちにそういう町の魅力、面白さをもっと知ってもらい、自ら発信したり、誇りに思ってくれるようにしたい。そして将来、その子たちが自分たちでまちを作っていく、そんな教育をしたい。
- 人の温かさや人との出会い。安パト隊が、子どもたちにすごくよく声かけしてくれる。
- 人の繋がりが深い町、小さな学校だからこそ、顔がすぐ浮かぶところも魅力。

安藤 元校長先生

- 地域力が強いところ。100周年記念誌からも、学校に対する地域の方の想いが伝わってくる。地域の方が学校を育てて盛り立ててきた。色々とお手伝いしてくれた。
- 偉人は、初代校長の成田鋼太郎さん。当時の三重県の教育会で1番の方に来てもらったらしい。教科書にも載っていた、佐久間勉艦長を育てた人物。
- 立地が良いし調理場もあるので、幼稚園や宅老所を併設して、子どもやお年寄りが一緒に生活できる場・学校にしていくのも一つの手法だと思う。

精義小学校 在校生の声

在校生

- 学校が近くて、帰りは仲良しの子と話しながら自由に帰れる。（バスだとできない）
- 6年間ずっと一緒のクラスだから楽しい。仲良しの子と離れ離れにならない。幼馴染。
- （子どもの数が少ないから）学年関係なく一緒に遊ぶ。みんなの名前を知っている。
- 放課後に自分たちで学校へ行って、校庭で遊べる。（子どもが遊べる場所が少ない）
- 大型遊具が楽しい。トイレがきれいになって使えるようになった。

精義小学校区 地域の声

地域の方（卒業生含む）

- 70代になっても同窓会をしているぐらい「精義愛」が強い。精義出身というプライドがある。
- 本当は違う校区なのに、精義が良くて通っていた人がいるぐらいブランドのある学校。
- 精義→光風→桑高の人が多い。卒業生でそのまま地域に住んでいる人も多い。
- 立地が便利。校庭が開けてて見晴らしが良いので明るい。安心・安全な雰囲気。

学年／年代:_____ 属性: ☐ 在校生 ☐ 保護者 ☐ 卒業生 ☐ 教職員（元教職員） ☐ 地域の方

※回答期限：2026年 **5月31日** 回収場所：バロー桑名東店／アピタ桑名店のサービスカウンター付近、ドラッグスギヤマ桑名中央店 レジ横付近、板吉菓子舗（寺町商店街）、小川茶店（堤原）

主催者：桑名の子どもと学校を守る会、精義小卒業生及び保護者有志 問合せ：info@kuwana-gakkou.com

桑名市は多度学園の検証もしない

桑名市に合併した旧多度町

国の地方交付税が減額されるからと

多度町の小学校、中学校全部廃止 大規模な義務教育学校に

地域やこどもにあたえる影響調査はまったくしない

必要な検証を拒否

桑名市全域から小学校中学校の全部廃止

巨大な義務教育学校に再編 2000人越える学校

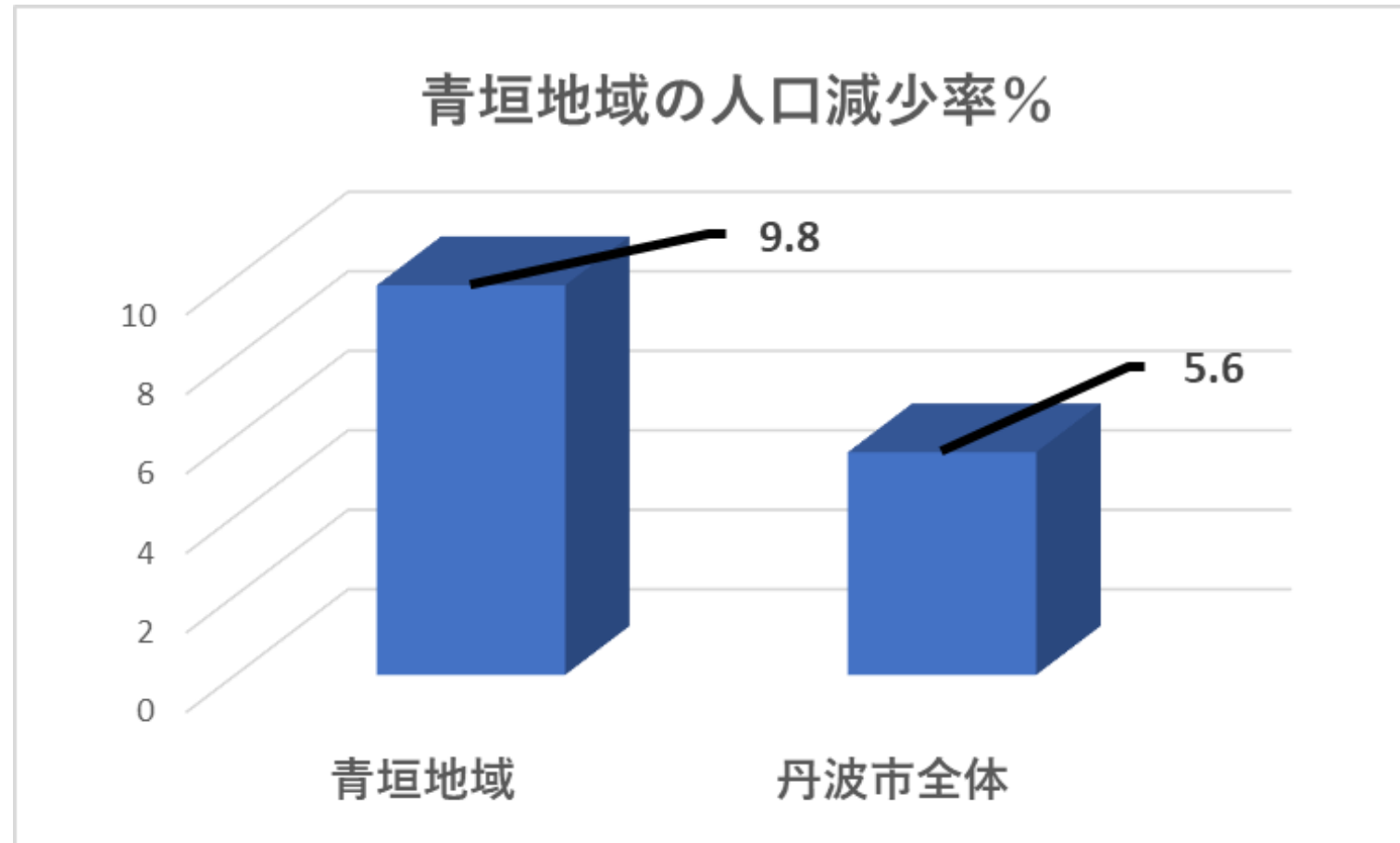
桑名市は学校なくなるとどうなる 影響評価を行っていない

自治体の役割

学校がなくなると地域にどのような影響を与えるのか
科学的に調査して 必要な対策を行う義務がある

学校統廃合でこどもにどんな影響を与えるのか
科学的に調査し ただちにケアを行う責がある

丹波市 H 2 9 に青垣小に統合された その年の人口と 5 年後の人口比較



丹波市青垣小学校区の声

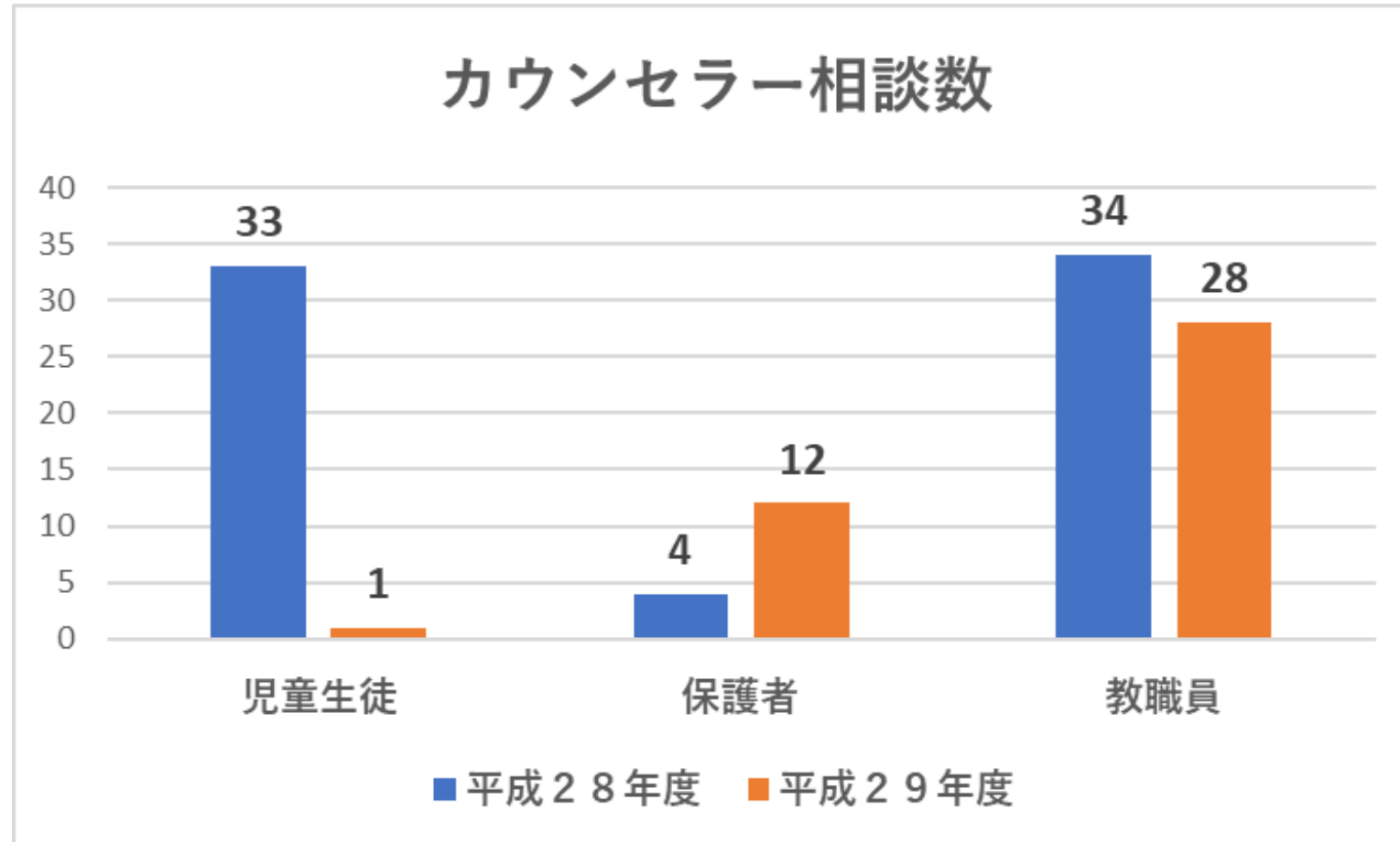
ねばって
ねばって
ねばりぬいてほしいです!!

わが母校芦田小学校は、全校児童数がたしか80名以上いたのに、統廃
合の犠牲に🙄

案の定、芦田の子ども達は激減、どんどん地域はすたれていく一方です。

もっとねばっていたらと猛省しています

丹波市青垣 統合で児童生徒の相談激減 下校時刻がスクールバスでぎりぎり



青垣・項目評定

- ・自分が通っていた学校がなくなってどう思いますか

	高学年	低・中学年
さびしい	2	2
少しさびしい	6	1
さびしくない	0	0

小学校統廃合に関する保護者アンケート 案

(児童の心理・生活への影響を知るための調査)

【はじめに】

このアンケートは、学校統廃合（学校の合併・移転など）が子どもや家庭にどのような影響を与えているかを把握し、今後の支援や学校運営に活かすために行うものです。ご記入は**無記名・匿名**でお願いします。お子さんやご家庭の不利益になることは一切ありません。

【基本情報】

1. お子さんの学年（複数いる場合は代表児童を対象）
☐1年 ☐2年 ☐3年 ☐4年 ☐5年 ☐6年
2. 性別 ☐男 ☐女 ☐回答しない
3. ご家庭の通学時間（片道）
☐15分以内 ☐16～30分 ☐31～60分 ☐1時間以上
4. 統廃合によってお子さんは
☐転校した ☐同じ学校に残った（校名変更など）

【お子さんのようす】

（5段階でお答えください） 5＝とてもあてはまる 4＝ややあてはまる 3＝どちらともいえない 2＝あまりあてはまらない 1＝まったくあてはまらない

〈心理・感情の変化〉

1. 統廃合以降、子どもが不安そうな様子を見ることがある。 54321
2. 元気がなくなった、または気分が落ち込むことがある。 54321
3. 学校に行きたくないと言うことが増えた。 54321
4. 新しい環境に慣れて楽しそうに過ごしている。 54321

〈行動・生活リズム〉

1. 朝起きる時間が以前より遅くなった／登校に時間がかかるようになった。 54321
2. 食欲や睡眠に変化がある。 54321
3. 学習意欲が下がったと感じる。 54321
4. 家で宿題や勉強に集中できている。 54321

〈学校・友人関係〉

1. 新しい学校で友だちができたようだ。 54321
2. 以前の友だちと会えなくなって寂しがつている。 54321

3. 学校での人間関係に不安を感じているようだ。 54321
4. 教師との関係は良好だと感じる。 54321

〈家庭・親子関係〉

1. 統廃合のことを家庭で話題にすることがある。 54321
2. 子どもの悩みを聞く時間を意識的に持っている。 54321
3. 学校への不満や不安を子どもが話すことがある。 54321

〈環境・通学など〉

1. 通学距離や時間が長くなり、子どもが疲れている。 54321
2. 通学路の安全性に不安がある。 54321
3. 学校行事や活動への参加がしにくくなった。 54321

〈学校への信頼・サポート〉

1. 学校や先生は子どもの気持ちに配慮していると思う。 54321
2. 学校から家庭への情報提供は十分だと思う。 54321
3. 統廃合に関して、家庭の意見を聞いてもらえる雰囲気がある。 54321

【自由記述】

1. 統廃合後、良かったと思う点があれば教えてください。

2. 統廃合後、困っていること・気になることがあれば教えてください。

3. 学校や行政に今後望むこと・改善してほしいことがあれば教えてください。

兵庫県丹波市の教育と地域を守る会
小学校統廃合された地域で
学童保育所でのお帰り時間に保護者対話実施

丹波市の教育と地域を守る会 青垣地区での保護者アンケート

協力 華頂短期大学 渋谷郁子准教授 発達心理学

心理感情の変化（5段階:4-20点）

- 子どもが不安そうな様子を見ることがある
- 元気がなくなった、気分が落ち込むことがある
- 学校に行きたくないと言うことが増えた
- 以前の友達と会えなくなって寂しがっている
- 学校での人間関係に不安を感じているようだ

校區別運動に ○○小学校を守る

過半数署名

校区の世帯数の過半数の署名を集める

カンパ

校区のお店のレジ横にカンパ箱

手作りポスター

子どもの手づくりポスター 10軒に1枚

署名 回収はお店にと

署名用紙はAコープへ!
東橋原をさびれさせたくない!
子どもたちに、豊か
東小学校で育つ権利を!

ません! 学校閉校には、地域住民の同意(合意形成)が必要です(文科省)。
議定会議が秋にあります。秋までに多数の署名が集まれば、小学校が存続する可能性が高いです!

い学校、東橋原の暮らし

**お店が近くて利便性のある、
緑豊かな東橋原を守りたい**
スーパー・飲食店等がそばにある東橋原。小学校は地域の「目」。閉校すれば子育て世帯は入ってこない。人口減少を加速させるのではなく、空き家を活かした移住支援で、店や店舗所の維持を!

このまま東小で勉強したい!
小学校は僕たちのもう一つの家。僕たちの小学校なんだ。

廃校で地域防災力が低下
人口5800人の東橋原は、市内で最多の町。一方で、町民57年以前の建物も多い。充実した防災機能を備えた教育施設へ。

学校には歩いていきたいな
中学校はもっと遠いけど、小学校で歩いているから大丈夫って。お母ちゃんも喜んでたよ。

小学校が近いから家を建てた
東橋原のはとんどの子どもがバス通学。体力低下は?通学バスに乗り遅れたら?毎日の学童のお迎えも、橋原町だと遠くなる。少人数教育の良いところもたくさんある。クラスの人数が減ると、小学校では不登校が明らかに減るらしい。

室生などで導入済のコミュニティスクール 住民が特徴を教えるなど、地域で子どもを育てるコミュニティスクール。学校を住民の交流拠点にし、多世代がつながる新しい東橋原のかたちを。

宇陀市長 金剛 一智様 教育長 田淵 泰央様
宇陀市議会議員 様
東橋原小学校の存続と東橋原地域の活性化を求める請願、要望に賛同します。

請願・要望項目
1. 東小学校の存続と、子育て環境・防災拠点の両立
2. 東橋原の特性を活かした「移住・定住対策」の強化
3. コミュニティスクールの充実による、地域全体で子どもを育む環境の構築

署名はAコープさんへ!
8月末まで集めます
お子様も市外の方も署名OK
住所は同上でOK
署名用紙コピーOK

氏名	住所	○をつけて下さい
		・ 東橋原 ・ 宇陀市 ・ 市外
		・ 東橋原 ・ 宇陀市 ・ 市外
		・ 東橋原 ・ 宇陀市 ・ 市外
		・ 東橋原 ・ 宇陀市 ・ 市外
		・ 東橋原 ・ 宇陀市 ・ 市外

署名は、**Aコープ**さん他、東橋原でご協力頂けるお店の署名回収ボックスへ
ママ・パパの東小大好きな会(代表 田中) 連絡先 higashi.school2025@gmail.com



子どもの手作りポスター 10軒に1枚



子どもと保護者が主役

保護者の立ち上がり

こたえて

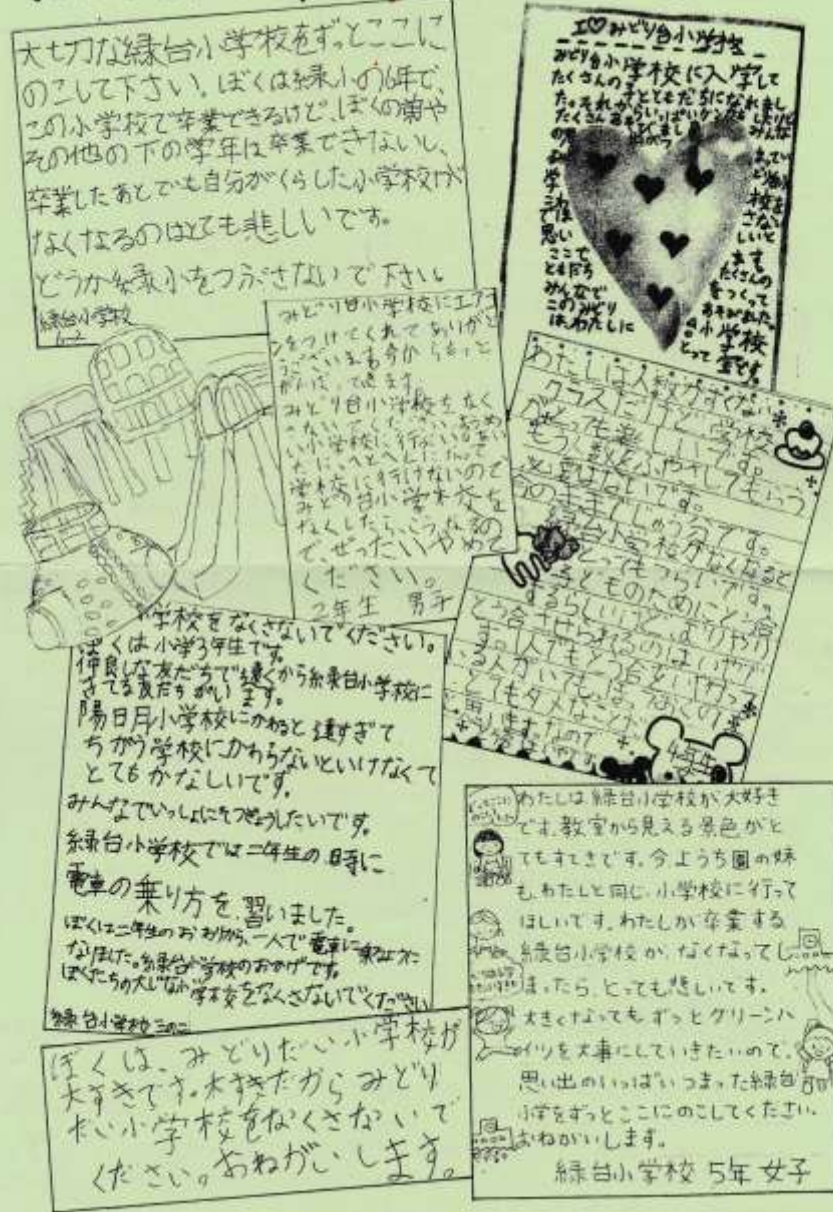
ささえる

「考える会」の役割



川西市の緑台小学校での説明会
体育館に子どもと保護者がぎっしり

✿ 子どもたちの声を少し紹介します ✿



子どもたちの声が一気に地域の共感を広げました

市議会では
子どもの手紙が読み上げられました

子どもには意見表明権がある



7つの義務教育学校整備 1050億円の巨大公共事業

「建設資材物価指数」（建設総合）（東京）は2022年平均から2025年11月まで15.6%上昇

中東情勢などで、建設費高騰
高市政権の積極財政で金利高騰

義務教育学校は1校あたり
150億円
7校で1050億円



出所：一般財団法人建設物価調査会「建設物価 建設資材物価指数」

高市政権の成長戦略

公共施設再編

学校統廃合を

新たな成長戦略で推し進める

同時に

大企業、ゼネコンの大もうけの場にしていく

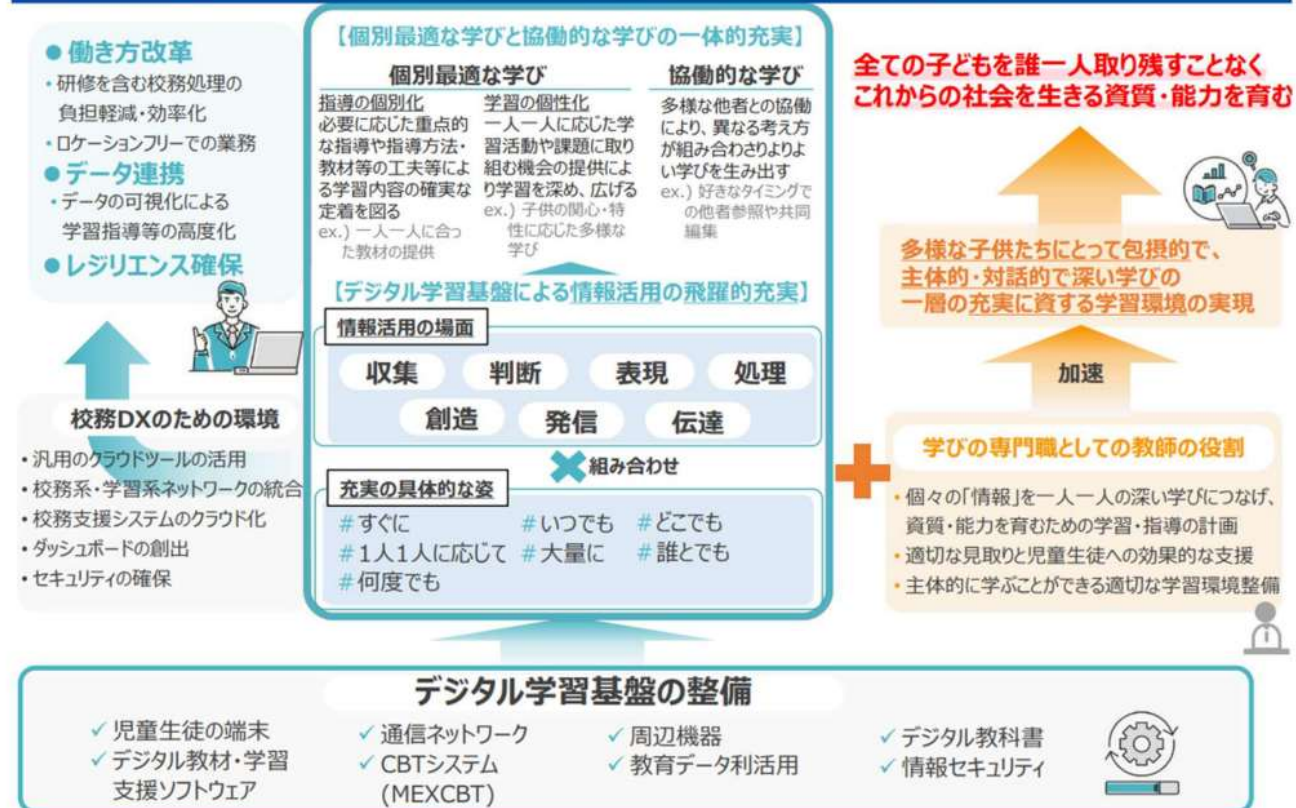
「成長」「地域を元気に」などの語り口で

学校教育のデジタル化 トーマツ 高石市

デジタル環境を活用した個別最適化学習の実現

デジタル学習基盤が可能とする学びの姿（イメージ）

103



学校施設の収益化 トーマツ 高石市

アメリカ：学校施設の収益化

検討状況

国内での収益化事例

- 部活動の外部委託先が収益事業を学校で行い、経費・人件費に充てることで自治体の費用を「下げる」試みは生まれつつある
- 学校施設の貸し出しについてもスポーツ庁の実証事業等で検証が行われ、適切な受益者負担や貸し出しやすいICTシステムの整備（空き状況がわかる予約システム、セキュリティを保ちつつ利用者が自ら開錠できるスマートロック等）が例示されている
- 早来学園の設備についても予約システムが活用されており、今後の受益者負担の徴収も検討されている

ゼネコン 学校施設整備に積極的 大林組のホームページ

教育環境の変化とニーズをつかみ、
競争力のある学校づくりを考えます。

個性的で充実した教育施設

充実した教育を支援する先進のシステム環境

自由に情報を発信・検索・受信するインターネット世代の要望に応えられる次代を見据えたメディア機能とインフラの整備で、総合的な教育環境の構築をお手伝いします。



部屋の分割に対応し多彩な利用が可能なマルチメディアルーム
(慶應義塾大学理工学部 創想館)



図書検索システム (神奈川県立保健福祉大学)



姉妹校間を結ぶ遠隔講義コミュニケーションシステム
(大阪商業大学・神戸芸術大学・大阪女子短期大学)



学校のアイデンティティを 体現する環境

個性を象徴して学校のアイデンティティとイメージを広く
発信するとともに、ランドマークとして地域や社会に親し
まれ、シンボルとなる建物をつくります。



ひとつの屋根でキャンパスを包み
学校のアイデンティティを表現
(神奈川県立保健福祉大学)

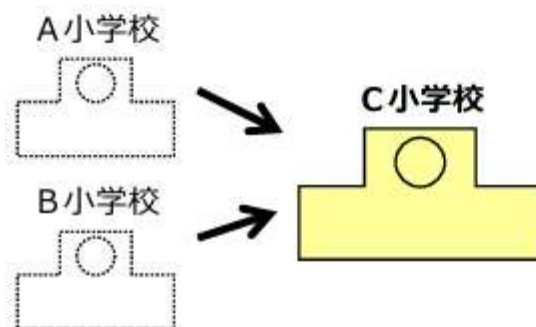


公立学校施設整備の学校統合に係る支援制度

- 公立の小学校、中学校及び義務教育学校を適正な規模にするため統合しようとするに伴って必要となり、又は統合したことに伴って必要となった校舎又は屋内運動場の新築又は増築に要する経費の一部を国が負担（原則 1 / 2）。
- また、学校統廃合に伴って実施する既存建物の改修についても、国庫補助を行っている（原則 1 / 2）。

パターンA

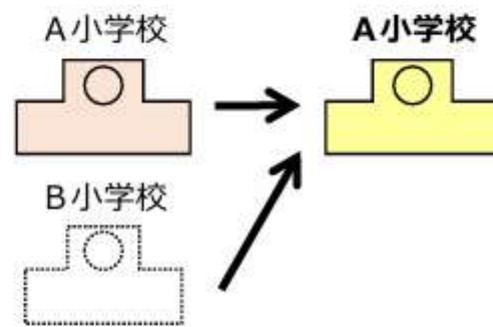
新しい敷地に統合する場合



公立学校施設整備費負担金により、原則 1 / 2 の国庫負担。

パターンB

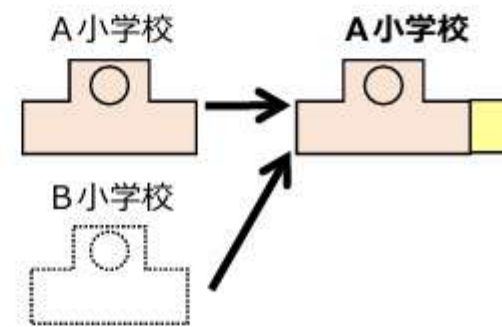
既存のいずれかの学校を統合に伴い改修する場合



既存建物を改修して活用する場合、学校施設環境改善交付金により原則 1 / 2 の国庫補助。

パターンC

既存のいずれかの学校を統合に伴い増築する場合



公立学校施設整備費負担金により、原則 1 / 2 の国庫負担。

※パターンBとパターンCは併用可能。

※パターンCを行う場合において、既存建物（赤色部分）については、老朽化や耐震力不足の要件を満たせば改築の国庫補助を行うことが可能（原則 1 / 3）。

補足

- ・ 学校数の減少を伴わなければ、統合事業の国庫補助対象とならない。
- ・ 学校建物として使用せず取り壊す建物については、施設整備事業と同時期に解体撤去を実施する場合に限り、当該費用も国庫補助対象としている。
- ・ 新增築や既存施設の改修については、一定の要件を満たした場合、統合年度の3年度前から整備することができる。
- ・ まちづくりの計画と一体となって施設整備を行う場合は、国交省都市局所管の都市構造再編集中支援事業を活用できる可能性がある。

詳細は右記リンクを参照。【国交省HP：https://www.mlit.go.jp/toshi/crd_machi_tk_000012.html】

政府による財政誘導 超えると自治体単独負担に ただし建設費高騰で基準

学校を中心とした他の公共施設との複合化・共用化について

学校施設の複合化・共用化を行うことにより、施設機能の高機能化・多機能化に伴う児童生徒や地域住民の多様な学習環境の創出、公共施設の有効活用、財政負担の軽減等につながることが期待される。

公立小中学校等の複合化事例数

全国で**11,450校**（約39%）

複合化した公共施設等の種類別件数（延べ数）

文教施設		社会福祉施設		文教施設・社会福祉施設以外の施設	
体育館	843件	放課後児童クラブ	6,870件	地域防災備蓄倉庫	7,475件
公民館	608件	児童館等	170件	給食共同調理場	409件
図書館	75件	保育所	88件	行政機関	55件

（令和4年9月1日時点 文部科学省調べ）

■ 学校施設と公共施設との複合化のイメージ

他の公共施設（図書館等）との複合化・共用化を図り、多様な「知」を集積する共創空間としていく姿



「新しい時代の学びを実現する学校施設の在り方について（最終報告）」
（令和4年3月）より

個別施設計画を実効性のあるものとするためには、少子化に対応した学校づくりや、学校を中心とした他の公共施設との複合化・共用化について、地域の実情に応じて検討し、その結果を計画に反映させることが重要。

AIで分析すると 桑名市財政への「致命的な」負担に

① 地方債の償還と金利リスク

建設費の多くは借金で賄われますが、現在は金利が上昇傾向にあります。1.5%～3%といった金利の上昇は、数十年にわたる返済総額を数十億円単位で膨らませます。

② 他のインフラ老朽化との「二重苦」

桑名市では学校だけでなく、上下水道管の老朽化**や公共施設の更新時期が重なっています。学校建設だけに財源を集中させると、生活インフラの維持が困難になる「インフラ危機」に直面する可能性があります。

③ 人口減少による税収減

学校を新しくしても、それを支える現役世代（納税者）が減っていけば、1人あたりの負担額は相対的に増えていきます。

桑名市の現在の財政規模から見て、1,000億円を超える学校整備は、極めて重い負担であることは間違いありません。

この規模の投資を強行すれば、将来の市民サービスの低下や増税、あるいは「財政再生団体（自治体の倒産状態）」に近い厳しい制限下での運営を迫られるリスクを含んでいます。

「本当に7校すべて新設が必要なのか」市民や議会ですっかり議論を

市民の声を聞かない
それ自体に桑名市の弱点がある

なぜ桑名市で

政府が桑名市をモデルに学校再編事業を成長戦略に
巨大プロジェクト 子どもと教育のためなのか

介護保険要支援保険外しのモデルにして全国波及したように

予測されるはげしい市民の反対
当局戦略は分断と対立

合意形成は校区単位で必要

全国ネット事務局（山本先生、今西）が参加し、文科省と意見交換 記録
合意形成について 2025年8月22日 文科省の見解

- 合意形成を大切に周知している
- 手引きを参考資料として活かして欲しい
- 自治会長だけの印鑑・合意ではなく、保護者や地域の幅広い合意が必要
- 子供達の教育にとって良い方法、小規模校の選択もできる
- 自治体には説明責任がある
- 保護者の意見も就学前の子どもと保護者の意見も必要
- 説明は一方的でなく
合意形成に向けた双方向のものにする必要がある
- 不安の声も自治体はしっかり聞く必要がある

校区単位で学校をまもる取り組みを

市方針教育委員会計画の問題点、弱点は「市民不在」

合意形成の欠落 誰も納得していない

身近で具体的な要求で対峙する

聞く 対話 ストリートでも訪問でも

声をもとに 要求、政策

説明会を 勝手に決めないで

子どもと保護者の声聞いて など

校区単位で「〇〇小学校をまもる会」「〇〇学校大好きの会」を

対話で市民主役の取り組みに 校区、地域で 考える 守る

校区単位で

100人き聞きました

その声にもとづいて みんなで考える 一歩ずつ

署名(校区過半数) ポスター 共感をひろげる

自治会、保護者会、議員など

対話をどんどん

〇〇学校をまもる共同の輪をひろげる

保護者三人からでも 〇〇小学校大好き会 など